

西光寺だより

第四十八号 平成二六年 八月一日発行

暑い季節になりました。この度は本願寺新報に載っていた

「はじめてのお盆」という記事をまとめてみました。

仏教では「生死無常」、この世のあらゆるものは生滅変化し永久のものはないと説かれます。《浄土真宗の教章》に『念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土にうまれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する』と示されているように、亡き人はすでに阿弥陀さまのお浄土に生まれて仏と成り、阿弥陀さまと同じさとりを開いたこの上ない仏さまとして私に向かつてはたらいでくださっています。そのはたらきを身近に感じるのには「南無阿弥陀仏」のお念仏であります。

親鸞聖人は「南無阿弥陀仏」の称号は、どこまでも自己中心的で、悩み苦しみ生きていくことしかできない私に『必ず救う、我にまかせよ』という阿弥陀さまのよび声であると。今まさに私の口を通して、私にはたらいでくださる阿弥陀さまのお姿そのものであります。

このお姿に、お浄土で仏と成り阿弥陀さまと同じはたらきをしていく亡き人のことを想う時、『お念仏は亡き人からのよび声でもある』と成った亡き人が私に向かつてはたらいでいる姿そのものでもある『とも味わうことが出来ます。そう思いながら阿弥陀さまに手を合わせ、お念仏申すとき、今までとは違う何かを感じる事ができるはずですよ。お盆や法事などの仏事を大切な仏縁として手を合わせ続け、み教えを聞いていく中で、少しずつでも感じていつか頂けたらと思います。

阿弥陀さまのはたらきの中で、深い悲しみの中にも、大切な亡き人は消えてしまったのではなく仏さまと成って私に常にはたらいでくれている、そしてやがては私も亡き人の待つお浄土へ仏として生まれていくという一筋の光、安心をいただき、お念仏と共にお浄土へと向けた人生を歩み出していくのが、浄土真宗の門徒なのであります。 合掌

◆八・九月の行事◆

八月 十五日 日(金)

盂蘭盆会法要

午後六時より

西光寺

九月 月)

在家報恩講

※毎月のお逮夜日を報恩講のお飾りでお待ち下さい。(ロウソクは赤)

九月 十八 日(木)

大谷本廟墓参(みのり講・穂積講の方)

午後二時

大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。行かれない方は千円を西光寺又は出席される方におことづけ下さい。年に一度の大谷墓参、皆さんでお参り致しましょう。

九月 二十八日(日)

秋季永代経法要

午後二時・午後七時 西光寺

◎御法話 本願寺派布教使 清岡 隆文 師

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>